

第 3 1 号議案

豊川市手数料条例の一部改正について

豊川市手数料条例の一部を改正する条例を次のように定めるものとする。

令和 7 年 2 月 2 0 日提出

豊川市長 竹 本 幸 夫

豊川市手数料条例の一部を改正する条例

豊川市手数料条例（平成 1 2 年豊川市条例第 1 4 号）の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第5 建設部関係（第2条関係）					別表第5 建設部関係（第2条関係）				
事務		手数料			事務		手数料		
		名称	金額				名称	金額	
1	建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項又は第18条第2項（同法第87条の4又は第88条第1項においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定に基づく建築物の建築等に関する確認の申請又は計画の通知に対する審査	建築物に係る確認申請又は計画通知手数料	床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき10,000円		1	建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項又は第18条第2項（同法第88条第1項においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定に基づく建築物の建築等に関する確認の申請又は計画の通知に対する審査	建築物に係る確認申請又は計画通知手数料	床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき6,000円	
			床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき28,000円					床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき19,000円	
床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき59,000円			床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき41,000円						
床面積の合計が200平方メートルを超えると き1件につき101,000円			床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき1件につき68,000円						
								床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき1件につき107,000円	
								床面積の合計が1,000平方メートルを超え2,000平方メートル以下のとき1件につき155,000円	
								床面積の合計が2,000平方メートルを超え10,000平方メートル以下のとき1件につき231,000円	
								床面積の合計が10,000平方メートルを超え50,000平方メートル以下のとき1件につき341,000円	
								床面積の合計が50,000平方メートルを超えるとき1件につき610,000円	
		建築設備及び	小荷物専用昇降機	1件につき9,000円（計画の変更に係る場合にあっては、6,000円）			工作物に係る	1件につき17,000円（計画の変更に係る場合にあっては、7,000円）	

		工作物に係る確認申請又は計画通知手数料	円) その他の建築設備 1 件につき23,000円 (計画の変更に係る場合にあっては、 10,000円) 工作物 1 件につき17,000円 (計画の変更に係る場合にあっては、 7,000円)			確認申請又は計画通知手数料	
2	建築基準法第7条第1項又は第18条第20項（同法第87条の4又は第88条第1項においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定に基づく建築物の建築等に関する工事の完了の検査の申請又は完了の通知に対	建築基準法第7条の3第1項の特定工程に係る建築物以外の建築物に係る完了検査申	床面積の合計が30平方メートル以下のとき 1 件につき23,000円 床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき 1 件につき28,000円 床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき 1 件につき41,000円 床面積の合計が200平方メートルを超えると き 1 件につき55,000円	2	建築基準法第7条第1項又は第18条第16項（同法_____第88条第1項においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定に基づく建築物の建築等に関する工事の完了の検査の申請又は完了の通知に対	建築基準法第7条の3第1項の特定工程に係る建築物以外の建築物に係る完了検査申	床面積の合計が30平方メートル以下のとき 1 件につき17,000円 床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき 1 件につき22,000円 床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき 1 件につき36,000円 床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき 1 件につき51,000円 床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき 1 件につき67,000円 床面積の合計が1,000平方メートルを超え2,000平方メートル以下のとき 1 件につき95,000円 床面積の合計が2,000平方メートルを超え10,000平方メートル以下のとき 1 件につき171,000円 床面積の合計が10,000平方メートルを超え50,000平方メートル以下のとき 1 件につき244,000円

	する検査	請又は完了通知手数料		する検査	請又は完了通知手数料	床面積の合計が50,000平方メートルを超えるとき1件につき449,000円						
		建築設備及び工作物に係る完了検査申請又は完了通知手数料	<table><tr><td>小荷物専用昇降機</td><td>1件につき23,000円</td></tr><tr><td>その他の建築設備</td><td>1件につき41,000円</td></tr><tr><td>工作物</td><td>1件につき29,000円</td></tr></table>		小荷物専用昇降機	1件につき23,000円	その他の建築設備	1件につき41,000円	工作物	1件につき29,000円	工作物に係る完了検査申請又は完了通知手数料	1件につき29,000円
		小荷物専用昇降機	1件につき23,000円									
		その他の建築設備	1件につき41,000円									
		工作物	1件につき29,000円									
建築基準法第7条の3第1項の特定工程に係	<table><tr><td>床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき22,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき27,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき40,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が200平方メートルを超えると き1件につき53,000円</td></tr></table>	床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき22,000円	床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき27,000円	床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき40,000円	床面積の合計が200平方メートルを超えると き1件につき53,000円	建築基準法第7条の3第1項の特定工程に係	<table><tr><td>床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき16,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき21,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき35,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき1件につき50,000円</td></tr><tr><td>床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき1件につき66,000円</td></tr></table>	床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき16,000円	床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき21,000円	床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき35,000円	床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき1件につき50,000円	床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき1件につき66,000円
床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき22,000円												
床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき27,000円												
床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき40,000円												
床面積の合計が200平方メートルを超えると き1件につき53,000円												
床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき16,000円												
床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき21,000円												
床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき35,000円												
床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき1件につき50,000円												
床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき1件につき66,000円												

		る建築物に係る完了検査申請又は完了通知手数料				る建築物に係る完了検査申請又は完了通知手数料	<u>床面積の合計が1,000平方メートルを超え2,000平方メートル以下のとき1件につき93,000円</u>
3	建築基準法第7条の3第1項又は第18条第28項の規定に基づく建築物の工事の中間の検査の申請又は特定工程の終了の通知に対する検査	中間検査申請又は特定工程終了通知手数料	<u>床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき20,000円</u> <u>床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき25,000円</u> <u>床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき36,000円</u> <u>床面積の合計が200平方メートルを超えると</u> <u>き1件につき48,000円</u>	3	建築基準法第7条の3第1項又は第18条第19項の規定に基づく建築物の工事の中間の検査の申請又は特定工程の終了の通知に対する検査	中間検査申請又は特定工程終了通知手数料	<u>床面積の合計が30平方メートル以下のとき1件につき16,000円</u> <u>床面積の合計が30平方メートルを超え100平方メートル以下のとき1件につき21,000円</u> <u>床面積の合計が100平方メートルを超え200平方メートル以下のとき1件につき33,000円</u> <u>床面積の合計が200平方メートルを超え500平方メートル以下のとき1件につき47,000円</u> <u>床面積の合計が500平方メートルを超え1,000平方メートル以下のとき1件につき62,000円</u> <u>床面積の合計が1,000平方メートルを超え2,000平方メートル以下のとき1件につき84,000円</u> <u>床面積の合計が2,000平方メートルを超え10,000平方メートル以下のとき1件につき143,000円</u> <u>床面積の合計が10,000平方メートルを超え50,000平方メートル以下のとき1件につき204,</u>

[illegible]

				「登録住宅性能評価機関」という。）が確認した場合 (略)					「登録住宅性能評価機関」という。）が確認した場合 (略)				
				(略)					(略)				
				(略)					(略)				
30・31 (略)													
32	都市の低炭素化の促進に関する法律（平成24年法律第84号）第54条第1項（第55条第2項の規定により準用する場合を含む。）に規定する低炭素建築物新築等計画の認定の申請に対する審査	低炭素建築物新築等計画認定申請手数料	都市の低炭素化の促進に関する法律第54条第1項各号に掲げる基準に適合すると愛知県知事が定める機関が認めた	(略)	共同住宅等	建築物全体又は複合建築物（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号。以下「建築物省エネ	(略)						
29・30 (略)													
31	都市の低炭素化の促進に関する法律（平成24年法律第84号）第54条第1項（第55条第2項の規定により準用する場合を含む。）に規定する低炭素建築物新築等計画の認定の申請に対する審査	低炭素建築物新築等計画認定申請手数料	都市の低炭素化の促進に関する法律第54条第1項各号に掲げる基準に適合すると愛知県知事が定める機関が認めた	(略)	共同住宅等	建築物全体のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成27年法律第53号）第11条第1項	(略)						

場合又は当該基準に適合することを証する書類として愛知県知事が定めるものが添付されている場合（以下_____「低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等」という。	法基準省令」という。）第1条第1項第1号に規定する非住宅部分（以下_____「非住宅部分」という。）及び同条第2項に規定する住宅部分（以下_____「住宅部分」という。）を有する建築物をいう。	場合又は当該基準に適合することを証する書類として愛知県知事が定めるものが添付されている場合（以下この項及び備考において「低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等」という。	_____に規定する非住宅部分（以下この項、33の項及び備考において「非住宅部分」という。）及び同項_____に規定する住宅部分（以下この項、33の項及び備考において「住宅部分」という。）を有する建築物をいう。
---	--	---	---

				)		以下____ _____ _____ _____ __同じ。)の住宅 部分に係 るもの				)		以下この 項、33の 項及び備 考におい て同じ。)の住宅 部分に係 るもの		
						複合建築 物の非住 宅部分に 係るもの	<u>1件につき10,300円</u>					複合建築 物の非住 宅部分に 係るもの	非住宅 部分の 延べ面 積が300 平方メ ートル 以下の もの	<u>1件に つき10 ,300円</u>
													非住宅 部分の 延べ面 積が300 平方メ ートル を超える もの	<u>1件に つき17 ,900円</u>
						その他 の建築 物	<u>1件につき10,300円</u>					その他 の建築 物	建築物の延べ面積 が300平方メート ル以下のもの	<u>1件に つき10 ,300円</u>
													建築物の延べ面積 が300平方メート	<u>1件に つき17</u>

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料	低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等	(略)	共同住宅等	住戸のみに係るもの	申請に係る戸数が1のもの 申請に係る戸数が2以上5以下のもの 申請に係る戸数が6以上10以下のもの 申請に係る戸数
					1件につき3,200円
					1件につき6,200円
					1件につき10,500円
					1件につき17,500円

				もの	
低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料	低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等	(略)	共同住宅等		

[illegible]

<u>る戸</u>	<u>200円</u>
<u>数が</u>	
<u>1の</u>	
<u>もの</u>	
<u>申請</u>	<u>1件に</u>
<u>に係</u>	<u>つき38,</u>
<u>る戸</u>	<u>500円</u>
<u>数が</u>	
<u>2以</u>	
<u>上5</u>	
<u>以下</u>	
<u>のも</u>	
<u>の</u>	
<u>申請</u>	<u>1件に</u>
<u>に係</u>	<u>つき54,</u>
<u>る戸</u>	<u>500円</u>
<u>数が</u>	
<u>6以</u>	
<u>上10</u>	
<u>以下</u>	
<u>のも</u>	
<u>の</u>	
<u>申請</u>	<u>1件に</u>
<u>に係</u>	<u>つき77,</u>
<u>る戸</u>	<u>100円</u>
<u>数が</u>	
<u>11以</u>	
<u>上の</u>	
<u>もの</u>	

建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係るもの	全住戸が建築物省エネ法基準令第10条第2号イ(1)及びロ(2)又はイ(2)及びロ(1)に定める基準に係るものであるもの	1棟の戸数が1のもの	1件につき14,100円
		1棟の総戸数が2以上5以下のもの	1件につき27,900円
		1棟の総戸数が6以上10以下のもの	1件につき39,600円
		1棟の総戸数が11以上のもの	1件につき57,000円

建築物全体	又は複合建築物の住宅部分に係るもの
-------	-------------------

全住 戸が 建築 物省 エネ 法基 準省 令 _____ _____ _____ _____ _____ 第 10条 第2 号イ (2) 及び ロ(2) に定 める 基準 に係 るも ので ある もの (略)	(略)
--	-----

全住戸が <u>建築物エネルギー消費性能基準</u> 等を定める省令第10条第2号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	(略)
(略)	

複合建築物の非住宅部分に係るもの	非住宅部分の全部が建築物省エネルギー基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	<u>1件につき48,600円</u>
	その他のもの	<u>1件につき125,200円</u>

複合建築物の非住宅部分に係るもの	非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性 能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	非住宅部分の延べ面積が300平方メートル以下のも の	<u>1件につき48,600円</u>
	その他のもの	非住宅部分の延べ面積が300平方メートルを超えるもの	<u>1件につき62,300円</u>
		非住宅部分の延べ面積	<u>1件につき125,200円</u>

[illegible]

[illegible]

[illegible]

				能適合性判定等の申請に対する審査等	請手 数料	第1号 ロに定 める基 準に係 る建築 物		の変更 に係る 場合に あって は、62 ,300円)
						その他 の建築 物	床面積の合計が300平方メ ートル以上のもの	1件に つき1, 200円 (建築 物エネ ルギー 消費性 能確保 計画の 変更 に係る場 合にあ っては 、157, 400円)
					建築物エ ネルギー 消費性 能	建築物 エネルギー消 費性能 基準等 を定め	床面積の合計が300平方メ ートル以上のもの	1件に つき31 ,100円

33	建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成27年法律第53号）第11条第1項に規定する建築物エネルギー消費性能適合性判定等の申請に対する審査等	建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料	一戸建て住宅	建築物省エネ法基準省令第1条第1項第2号イ（1）及びロ（2）又はイ（2）及びロ（1）に定める基準に係るものであるもの	1件につき27,000円（建築物エネルギー消費性能確保計画（以下この項において「計画」という。）の変更に係る場
----	--	------------------------	--------	--	---

		確保 計画 の軽 微な 変更 に関 する 証明 書交 付手 数料	る省令 第1条 第1項 第1号 ロに定 める基 準に係 る建築 物 その他 の建築 物		
				床面積の合計が300平方メ ートル以上のもの	1件に つき78 ,700円

				合にあ っては 、14,10 0円)
		建築物省エネ法基準省令 第1条第1項第2号イ(2))及びロ(2)に定める基準 に係るものであるもの		1件に つき19, 100円 (計 画の変更 に係る場 合にあ っては 、10,10 0円)
		その他のもの		1件に つき37, 100円 (計 画の変更 に係る場 合にあ っては 、19,20 0円)
共 同 住 宅 等	住 戸 に 係 る も の	全住戸が建築物省 エネ法基準省令第 1条第1項第2号 イ(1)及びロ(2))又はイ(2)及びロ	住 戸 の 数 (増 築又 は改	1件に つき27, 000円 (計 画の変更に

							5以下のもの	変更に係る場合にあつては、27,900円)
							住戸の数が6以上10以下のもの	1件につき75,800円(計画の変更に係る場合にあつては、39,600円)
							住戸の数が11以上のもの	1件につき108,300円(計画の変更に係る場合にあつては、57,000円)
						全住戸が建築物省エネ法基準省令第1条第1項第2号	住戸の数が1	1件につき19,100円(

[illegible]

					が11 以上 のも の	600円（ 計画の 変更に 係る場 合にあ っては 、40,20 0円）
				その他のもの	住戸 の数 が1 のも の	1件に つき37, 100円（ 計画の 変更に 係る場 合にあ っては 、19,20 0円）
					住戸 の数 が2 以上 5以 下の もの	1件に つき74, 900円（ 計画の 変更に 係る場 合にあ っては 、38,50 0円）
					住戸	1件に

[illegible]

	に規定する共用部分（以下「共用部分」という。）に係るもの		
	非住宅部分に係るもの	非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第1条第1項第1号ロに定める基準に係るものであるもの	1件につき95,000円（計画の変更に係る場合にあっては、48,600円）
		その他のもの	1件につき248,400円（計画の変更に係る場合にあっては、125,200円）
その他の建築物	全部が建築物省エネ法基準省令第1条第1項第1号ロ	1件につき95,000円（計画の変更に係る場	

				に定める基準に係るものであるもの	合にあつては、48,600円)
				その他のもの	1件につき248,400円（計画の変更に係る場合にあつては、125,200円）
		建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料	1件につき、建築物の区分に応じ、建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料に係る手数料金額の欄に掲げる計画の変更に係る場合の額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）		
34	建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する	建築物エネルギー	建築物のエネルギー消費性	(略)	
			共同住宅等	(略)	
				複合建築物の非住宅部	1件につき10,300円
33	建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する	建築物エネルギー	建築物のエネルギー消費性	(略)	
			共同住宅等	(略)	
				複合建築物の非住宅部	1件につき10
				非住宅部	つき10

		る法律第30条第1項（第31条第2項の規定により準用する場合を含む。）に規定する建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請に対する審査	消費性能向上計画認定申請手数料	能の向上等に関する法律第30条第1項各号に掲げる基準に適合すると愛知県知事が定める機関が認めた場合又は当該基準に適合することを証する書類として愛知県知事が定めるものが添付されている		分に係るもの		分の延べ面積が300平方メートル以下のもの	,300円
		る法律第35条第1項（第36条第2項の規定により準用する場合を含む。）に規定する建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請に対する審査	消費性能向上計画認定申請手数料	能の向上等に関する法律第35条第1項各号に掲げる基準に適合すると愛知県知事が定める機関が認めた場合又は当該基準に適合することを証する書類として愛知県知事が定めるものが添付されている		分に係るもの		非住宅部分の延べ面積が300平方メートルを超えるもの	1件につき17,900円
				その他の建築物	1件につき10,300円			建築物の延べ面積が300平方メートル以下のもの	1件につき10,300円

[illegible]

– 40 –

	(略)	
複合建築物の非住宅部分に係るもの	非住宅部分の全部が建築物省エネルギー基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	<u>1件につき95,000円</u>
	その他のもの	<u>1件につき248,400円</u>

	(略)		
複合建築物の非住宅部分に係るもの	非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	非住宅部分の延べ面積が300平方メートル以下のも	<u>1件につき95,000円</u>
		非住宅部分の延べ面積が300平方メートルを超えるもの	<u>1件につき12,000円</u>
	その他のもの	非住宅部分の延べ	<u>1件につき248,400円</u>

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

	準に係るものであるもの		
	(略)		
共同住宅等	<u>住戸のみに係るもの</u>	<u>申請に係る戸数が1のもの</u>	<u>1件につき19,200円</u>
		<u>申請に係る戸数が2以上5以下のもの</u>	<u>1件につき38,500円</u>
		<u>申請に係る戸数が6以上10以下のもの</u>	<u>1件につき54,500円</u>
		<u>申請に係る戸数が11以上のもの</u>	<u>1件につき77,000円</u>

	準に係るものであるもの	
	(略)	
共同住宅等		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第10条
第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの

その他のもの	<u>1 件につき125</u>
の	<u>, 200円</u>

省令第10条 第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものであるもの	平方 メー トル 以下 のも の 建築 物の 延べ 面積 が300 平方 メー トル を超 える もの	1件に つき62 ,300円
その他のもの	建築 物の 延べ 面積 が300 平方 メー トル 以下 のも の 建築	1件に つき12 5,200 円 1件に

[illegible]

[illegible]

						<u>する書</u> <u>類とし</u> <u>て愛知</u> <u>県知事</u> <u>が定め</u> <u>るもの</u> <u>が添付</u> <u>されて</u> <u>いる場</u> <u>合（以</u> <u>下この</u> <u>項及び</u> <u>備考に</u> <u>おいて</u> <u>「基準</u> <u>適合性</u> <u>確認機</u> <u>関が認</u> <u>めた場</u> <u>合等」</u> <u>という</u> <u>。）</u>					
						<u>その他</u> <u>の場合</u>	<u>1戸建</u> <u>て住宅</u>	<u>建築物エネルギー</u> <u>消費性能基準等を</u> <u>定める省令第1条</u> <u>第1項第2号イ（</u> <u>2）及びロ（2）又</u> <u>はイ（3）及びロ（</u> <u>3）に定める基準</u>	<u>1件に</u> <u>つき19</u> <u>,100円</u>		

		に係るもの	
		その他のもの	1 件に つき37 ,100円
共同住 宅等	全住戸が建 築物エネル ギー消費性 能基準等を 定める省令 第1条第1 項第2号イ (2)及びロ (2)又はイ (3)及びロ (3)に定め る基準に係 るものであ るもの	1棟 の戸 数が1の もの	1 件に つき19 ,100円
		1棟 の総 戸数が2 以上5以 下のもの	1 件に つき35 ,900円
		1棟 の総 戸数が6 以上10以下 のもの	1 件に つき51 ,900円
		1棟 の総 戸数が11	1 件に つき74 ,600円

	<u>以上</u> <u>のも</u> <u>の</u>	
<u>その他のもの</u>	<u>1棟</u> <u>の戸</u> <u>数が</u> <u>1の</u> <u>もの</u>	<u>1件に</u> <u>つき37</u> <u>,100円</u>
	<u>1棟</u> <u>の総</u> <u>戸数</u> <u>が2</u> <u>以上</u> <u>5以</u> <u>下の</u> <u>もの</u>	<u>1件に</u> <u>つき74</u> <u>,900円</u>
	<u>1棟</u> <u>の総</u> <u>戸数</u> <u>が6</u> <u>以上1</u> <u>0以下</u> <u>のもの</u> <u>の</u>	<u>1件に</u> <u>つき10</u> <u>5,400</u> <u>円</u>
	<u>1棟</u> <u>の総</u> <u>戸数</u> <u>が11</u> <u>以上</u>	<u>1件に</u> <u>つき14</u> <u>8,300</u> <u>円</u>

		<u>の もの</u>	
<u>その他 の建築 物</u>	<u>建築物全体 が建築物エ ネルギー消 費性能基準 等を定める 省令第1条 第1項第1 号ロに定め る基準に係 るものであ るもの</u>	<u>建築 物の 延べ 面積 が300 平方 メー トル 以下 のもの</u>	<u>1 件に つき95 ,000円</u>
		<u>建築 物の 延べ 面積 が300 平方 メー トル を超 える もの</u>	<u>1 件に つき12 1,000 円</u>
	<u>その他のも の</u>	<u>建築 物の 延べ 面積 が300</u>	<u>1 件に つき24 8,400 円</u>

								平方 メー トル 以下 のも の	
								建築 物の 延べ 面積 が300 平方 メー トル を超 える もの	1 件に つき31 1,200 円

35	宅地造成及 び特定盛土 等規制法（ 昭和36年法 律第191号 ）第12条第 1項の規定 に基づく宅 地造成工事 等許可の申 請に対する 審査	宅地 造成 又は 特定 盛土 等工 事許 可申 請手 数料	切土又は盛土をする土地の面積が500平方メ ートル以内のとき 1 件につき17,000円 切土又は盛土をする土地の面積が500平方メ ートルを超え1,000平方メートル以内のとき 1 件につき28,000円 切土又は盛土をする土地の面積が1,000平方 メートルを超え2,000平方メートル以内のと き 1 件につき40,000円 切土又は盛土をする土地の面積が2,000平方 メートルを超え3,000平方メートル以内のと き 1 件につき58,000円 切土又は盛土をする土地の面積が3,000平方
----	--	--	---

			<u>メートルを超え5,000平方メートル以内のとき1件につき69,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が5,000平方メートルを超え10,000平方メートル以内のとき1件につき94,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が10,000平方メートルを超え20,000平方メートル以内のとき1件につき149,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が20,000平方メートルを超え40,000平方メートル以内のとき1件につき226,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が40,000平方メートルを超え70,000平方メートル以内のとき1件につき360,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が70,000平方メートルを超え100,000平方メートル以内のとき1件につき510,000円</u> <u>切土又は盛土をする土地の面積が100,000平方メートルを超えるとき1件につき660,000円</u>	
36	<u>宅地造成及び特定盛土等規制法第16条第1項の規定に基づく宅地造成工事計画変更等許可の申請に対</u>	<u>宅地造成又は特定盛土等工事計画変更許</u>	<u>1件につき、次に掲げる額を合算した額。ただし、その額が660,000円を超えるときは、660,000円とする。</u> <u>ア 宅地造成又は特定盛土等に関する工事に係る設計の変更(イのみに該当する変更を除く。)</u> <u>については、前項に掲げる面積(イに規定する変更を伴う場合にあっては変更前の切土又は盛土をする土地の面積、切土又は盛土をする土地の面積</u>	

	する審査	可申請手数料	の縮小を伴う場合にあつては縮小後の切土又は盛土をする土地の面積)に応じ、同項に規定する額に10分の1を乗じて得た額 イ 切土又は盛土をする土地の追加に係る設計の変更については、追加される切土又は盛土をする土地の前項に掲げる面積に応じ、同項に規定する額 ウ その他の変更については、12,000円
37	宅地造成及び特定盛土等規制法第19条第1項の規定に基づく宅地造成工事等中間検査の申請に対する審査	宅地造成又は特定盛土等工事中間検査申請手数料	切土又は盛土をする土地の面積が2,000平方メートル以内のとき1件につき4,000円 切土又は盛土をする土地の面積が2,000平方メートルを超え3,000平方メートル以内のとき1件につき5,000円 切土又は盛土をする土地の面積が3,000平方メートルを超え20,000平方メートル以内のとき1件につき7,000円 切土又は盛土をする土地の面積が20,000平方メートルを超え40,000平方メートル以内のとき1件につき11,000円 切土又は盛土をする土地の面積が40,000平方メートルを超え70,000平方メートル以内のとき1件につき19,000円 切土又は盛土をする土地の面積が70,000平方メートルを超え100,000平方メートル以内のとき1件につき31,000円 切土又は盛土をする土地の面積が100,000平方メートルを超えるとき1件につき44,000円
38	宅地造成及	土石	土石の堆積をする土地の面積が500平方メー

<u>び特定盛土</u> <u>等規制法第</u> <u>12条第1項</u> <u>の規定に基</u> <u>づく土石の</u> <u>堆積工事許</u> <u>可の申請に</u> <u>対する審査</u>	<u>の堆</u> <u>積工</u> <u>事許</u> <u>可申</u> <u>請手</u> <u>数料</u>	<u>トル以内のとき1件につき12,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が500平方メー</u> <u>トルを超え1,000平方メートル以内のとき1</u> <u>件につき14,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が1,000平方メ</u> <u>ートルを超え2,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき17,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が2,000平方メ</u> <u>ートルを超え3,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき20,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が3,000平方メ</u> <u>ートルを超え5,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき29,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が5,000平方メ</u> <u>ートルを超え10,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき32,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が10,000平方メ</u> <u>ートルを超え20,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき39,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が20,000平方メ</u> <u>ートルを超え40,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき53,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が40,000平方メ</u> <u>ートルを超え70,000平方メートル以内のとき</u> <u>1件につき74,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が70,000平方メ</u> <u>ートルを超え100,000平方メートル以内のと</u> <u>き1件につき102,000円</u>
		<u>土石の堆積をする土地の面積が100,000平方</u>

			メートルを超えるとき1件につき132,000円
39	宅地造成及び特定盛土等規制法第16条第1項の規定に基づく土石の堆積工事計画変更の許可の申請に対する審査	土石の堆積工事計画変更申請手数料	1件につき、次に掲げる額を合算した額。ただし、その額が132,000円を超えるときは、132,000円とする。 ア 土石の堆積に関する工事の計画の変更（イのみに該当する変更を除く。）については、前項に掲げる面積（イに規定する変更を伴う場合にあっては変更前の土石の堆積をする土地の面積、土石の堆積をする土地の面積の縮小を伴う場合にあっては縮小後の土石の堆積をする土地の面積）に応じ、同項に規定する額に10分の1を乗じて得た額 イ 土石の堆積をする土地の追加に係る設計の変更については、追加される土石の堆積をする土地の前項に掲げる面積に応じ、同項に規定する額 ウ その他の変更については、12,000円

備考

- 1 1の項に掲げる建築物に係る確認申請又は計画通知手数料について、手数料金額の欄の床面積の合計は、次に掲げる面積について算定する。
- ア・イ （略）
- ウ 建築物を移転し、その大規模の修繕又は大規模の模様替をする場合（エに規定する場合を除く。）にあっては、当該移転、修繕又は模様替に係る部分の床面積の2分の1
- エ 確認を受けた建築物の計画の変更をして建築物を移転し、その大規模の修繕又は大規模の模様替をする場合にあっては、当該計画の変更に係る部分の床面積の2分の1

備考

- 1 1の項に掲げる建築物に係る確認申請又は計画通知手数料について、手数料金額の欄の床面積の合計は、次に掲げる面積について算定する。
- ア・イ （略）
- ウ 建築物を移転_____する場合（エに規定する場合を除く。）にあっては、当該移転_____に係る部分の床面積の2分の1
- エ 確認を受けた建築物の計画の変更をして建築物を移転_____する場合にあっては、当該計画の変更に係る部分の床面積の2分の1

2 (略)

3 2の項に掲げる建築物に係る完了検査申請又は完了通知手数料について、手数料金額の欄の床面積の合計は、建築物を建築した場合（建築物を移転した場合を除く。）にあつては当該建築に係る部分の床面積について算定し、建築物を移転し、又はその大規模の修繕若しくは大規模の模様替をした場合にあつては当該移転、修繕又は模様替に係る部分の床面積の2分の1について算定する。

4 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画認定申請手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次_____に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ10,300円_____を加算する。

(1) 共用部分

_____がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

(2) 非住宅部分がある場合

5 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) (略)

2 (略)

3 2の項に掲げる建築物に係る完了検査申請又は完了通知手数料について、手数料金額の欄の床面積の合計は、建築物を建築した場合（建築物を移転した場合を除く。）にあつては当該建築に係る部分の床面積について算定し、建築物を移転_____した場合にあつては当該移転_____に係る部分の床面積の2分の1について算定する。

4 31の項に掲げる低炭素建築物新築等計画認定申請手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) 建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第4条第3項第1号に規定する共用部分（以下「共用部分」という。）がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 10,300円

(2) 非住宅部分がある場合 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額
ア 300平方メートル以下のもの 10,300円
イ 300平方メートルを超えるもの 17,900円

5 31の項に掲げる低炭素建築物新築等計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) (略)

(2) 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部の用途が建築物省エネ法基準省令第10条第1号に規定する工場等（以下「工場等」という。）である場合に限る。） 47,500円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 95,000円

(4) 非住宅部分がある場合（前2号に規定する場合を除く。）
248,400円

6 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等（複合建築物の非住宅部分に係るものに限る。）又はその他の建築物に係る申請に係るものに限る。）について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る建築物の区分にかかわらず、建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係る建築物の区分によるものとし、当該手数料に係る手数料金額の欄に掲げる額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨て得た額）とする。

7 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次_____に掲げる

(2) 非住宅部分がある場合（_____非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 95,000円

イ 300平方メートルを超えるもの 121,000円

(3) 非住宅部分がある場合（前号_____に規定する場合を除く。） 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 248,400円

イ 300平方メートルを超えるもの 311,200円

6 31の項に掲げる低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体_____又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる

場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ6,200円を加算する。

(1) 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

(2) 非住宅部分がある場合

8 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) (略)

(2) 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部の用途が工場等である場合に限る。） 24,300円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 48,600円

(4) 非住宅部分がある場合（前2号に規定する場合を除く。）
125,200円

場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

6,200円

(2) 非住宅部分がある場合 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 6,200円

イ 300平方メートルを超えるもの 10,700円

7 31の項に掲げる低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体

又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) (略)

(2) 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 48,600円

イ 300平方メートルを超えるもの 62,300円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除く。）
当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

9 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等（複合建築物の非住宅部分に係るものに限る。）又はその他の建築物に係る申請に係るものに限る。）について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る建築物の区分にかかわらず、建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係る建築物の区分によるものとし、当該手数料に係る手数料金額の欄に掲げる額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。

10 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ3,100円を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

（2） 非住宅部分がある場合

11 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等以外の場合における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

ア 300平方メートル以下のもの 125,200円

イ 300平方メートルを超えるもの 157,400円

(1) 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 30,100円

(2) 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部の用途が工場等である場合に限る。） 12,100円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 24,300円

(4) 非住宅部分がある場合（前2号に規定する場合を除く。） 62,600円

12 32の項に掲げる低炭素建築物新築等計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料（低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等並びに低炭素建築物基準適合性確認機関が認めた場合等以外の場合における1戸建て住宅及び共同住宅等（建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係るものに限る。）に係る申請に係るものを除く。）について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る手数料金額の欄の規定にかかわらず、第9項の規定により計算して得た額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。

13 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る建築物の区分にかかわらず、建築物省エネ法基準省令第1条第1項第1号ロに定める基準に係る建築物の区分によるものとし、当該手数料に係る手数料金額の欄に掲げる額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。

8 32の項に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料について、建築物の用途が工場、危険物の貯蔵又は処理に供するもの、水産物の増殖場又は養殖場、倉庫、卸売市場、火葬場、と畜場、汚物処分場、ごみ焼却場その他これらに類するもの（第10項において「工場等」という。）である場合における当該手数料の額は、同項の規定にかかわらず、60,500円（建築物エネルギー消費性能確保計画の変更に係る場合にあつては、31,100円）とする。

14 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料について、当該手数料に係る建築物（増築又は改築をする場合にあっては、当該増築又は改築に係る部分をいう。）が設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に含まれていない場合又は建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第29条第3項各号に掲げる事項が記載されている同法第32条に規定する認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する他の建築物につき当該認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同法第30条第1項若しくは第31条第1項の認定における評価の方法と同様の評価の方法により建築物エネルギー消費性能適合性判定を行うこととなる場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る手数料金額の欄及び前項の規定にかかわらず、34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（建築物エネルギー消費性能確保計画の変更に係る場合にあっては、同項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料）に係る計画適合性確認機関が認めた場合等の区分に係る手数料金額の欄に掲げる額に相当する額とする。

15 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料について、当該手数料に係る共同住宅等の住戸に係るもの、共用部分に係るもの又は非住宅部分に係るものの判定を一の申請書により受けようとする場合における当該判定に係る手数料の額は、当該共同住宅等の住戸に係るもの、共用部分に係るもの又は非住宅部分に係るものについてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料の額に相当する額を合算した額とする。

9 32の項に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定申請手数料について、

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第34条第3項各号に掲げる事項が記載されている同法第37条に規定する認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する他の建築物につき当該認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同法第35条第1項又は第36条第1項 の認定における評価の方法と同様の評価の方法により建築物エネルギー消費性能適合性判定を行うこととなる場合における当該手数料の額は、32の項

及び前項の規定にかかわらず、33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（建築物エネルギー消費性能確保計画の変更に係る場合にあっては、同項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料）に係る計画適合性確認機関が認めた場合等の区分に係る手数料金額の欄に掲げる額に相当する額とする。

10 32の項に掲げる建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料について、建築物の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、同項の規定にかかわらず、15,500円とする。

- 16 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る手数料金額の欄の規定にかかわらず、第13項の規定により計算して得た計画の変更に係る場合の額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。
- 17 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料について、当該手数料に係る建築物（増築又は改築をする場合にあっては、当該増築又は改築に係る部分をいう。）が設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に含まれていない場合又は建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第29条第3項各号に掲げる事項が記載されている同法第32条に規定する認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する他の建築物につき当該認定建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同法第30条第1項若しくは第31条第1項の認定における評価の方法と同様の評価の方法により建築物エネルギー消費性能適合性判定を行うこととなる場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る手数料金額の欄及び前項の規定にかかわらず、第14項の規定により計算して得た建築物エネルギー消費性能確保計画の変更に係る場合の額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。
- 18 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料について、当該手数料に係る共同住宅等の住戸に係るもの、共用部分に係るもの又は非住宅部分に係るものの証明書の交付を一の申請書により受けようとする場合における当該証明書の交付に係る手数料の額は、当該共同住宅等の住戸に係るもの、共用部分に係るもの又は非住宅部分に係るもの

についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能確保計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料の額に相当する額を合算した額とする。

19 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（計画適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次_____に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ10,300円_____を加算する。

（1）共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

（2）非住宅部分がある場合

20 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1）共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 118,500円

11 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（計画適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1）共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 10,300円

イ 300平方メートルを超えるもの 17,900円

（2）非住宅部分がある場合 当該非住宅部分の床面積の合計について、前号ア又はイに掲げる区分に応じ、それぞれア又はイに定める額

12 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1）共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 118,500円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 95,000円

(4) 非住宅部分がある場合（前2号に規定する場合を除く。）
248,400円

21 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等（複合建築物の非住宅部分に係るものに限る。）又はその他の建築物に係る申請に係るものに限る。）について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る建築物の区分にかかわらず、建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係る建築物の区分によるものとし、当該手数料に係る手数料金額の欄に掲げる額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。

22 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律**第29条第1項**の規定による認定の申請に係る建築物エネルギー消費性能向上計画に同条第3項各号に掲げる事項が記載されてい

イ 300平方メートルを超えるもの 149,700円

(2) 非住宅部分がある場合（ 非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限り。）当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 95,000円

イ 300平方メートルを超えるもの 121,000円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除く。）
当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に
応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 248,400円

イ 300平方メートルを超えるもの 311,200円

13 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第34条第1項の規定による認定の申請に係る建築物エネルギー消費性能向上計画に同条第3項各号に掲げる事項が記載されてい

る場合における当該手数料の額は、当該建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する申請建築物及び他の建築物の各建築物についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料の額に相当する額を合算した額とする。

23 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料（計画適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次_____に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ6,200円_____を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

（2） 非住宅部分がある場合

24 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 60

る場合における当該手数料の額は、当該建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する申請建築物及び他の建築物の各建築物についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料の額に相当する額を合算した額とする。

14 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料（計画適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体_____又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 6,200円

イ 300平方メートルを超えるもの 10,700円

（2） 非住宅部分がある場合 当該非住宅部分の床面積の合計について、前号ア又はイに掲げる区分に応じ、それぞれア又はイに定める額

15 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の建築物全体_____又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当

, 300円

(2) 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部の用途が工場等である場合に限る。） 24,300円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。） 48,600円

(4) 非住宅部分がある場合（前2号に規定する場合を除く。）
125,200円

25 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等（複合建築物の非住宅部分に係るものに限る。）又はその他の建築物に係る申請に係るものに限る。）について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る建築物の区分にかかわらず、建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ（2）及びロ（2）に定める基準に係る建築物の区分によるものとし、当該手数料に係る手数料金額の欄に掲げる額の2分の1に相当する額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額）とする。

26 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申

該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 60,300円

イ 300平方メートルを超えるもの 76,600円

(2) 非住宅部分がある場合（ 非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限り。）当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 48,600円

イ 300平方メートルを超えるもの 62,300円

(3) 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除く。）
当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に
 応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 125,200円

イ 300平方メートルを超えるもの 157,400円

16 33の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申

請手数料について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第31条第1項の変更の認定の申請に係る建築物エネルギー消費性能向上計画に同法第29条第3項各号に掲げる事項が記載されている場合における当該手数料の額は、当該変更後の建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する申請建築物及び他の建築物の各建築物（変更がないものを除く。）についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料の額（当該変更により建築物エネルギー消費性能向上計画に新たに記載される建築物については、建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料の額）に相当する額を合算した額とする。

請手数料について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第36条第1項の変更の認定の申請に係る建築物エネルギー消費性能向上計画に同法第34条第3項各号に掲げる事項が記載されている場合における当該手数料の額は、当該変更後の建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する申請建築物及び他の建築物の各建築物（変更がないものを除く。）についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定申請手数料の額（当該変更により建築物エネルギー消費性能向上計画に新たに記載される建築物については、建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料の額）に相当する額を合算した額とする。

17 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能基準適合認定申請手数料（基準適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 10,300円

イ 300平方メートルを超えるもの 17,900円

（2） 非住宅部分がある場合 当該非住宅部分の床面積の合計について、前号ア又はイに掲げる区分に応じ、それぞれア又はイに定める額

18 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能基準適合認定申請手数料（その他の場合における共同住宅等の申請に係るものに限る。）について、次の各号に掲げる場合に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費

27 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料（計画適合性確認機関が認めた場合等における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。）について、次に掲げる場合（複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。）には、それぞれ3,100円を加算する。

（1） 共用部分がある場合（申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。）

（2） 非住宅部分がある場合

28 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料（計画適合性確認機関が認めた場合

量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。） 当該共用部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 118,500円

イ 300平方メートルを超えるもの 149,700円

（2） 非住宅部分がある場合（非住宅部分の全部が建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第1条第1項第1号ロに定める基準に係るものである場合に限る。） 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 95,000円

イ 300平方メートルを超えるもの 121,000円

（3） 非住宅部分がある場合（前号に規定する場合を除く。） 当該非住宅部分の床面積の合計について、次に掲げる区分に応じ、それぞれ定める額

ア 300平方メートル以下のもの 248,400円

イ 300平方メートルを超えるもの 311,200円

等以外の場合における共同住宅等の建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係る申請に係るものに限る。)について、次の各号に掲げる場合(複合建築物の住宅部分に係る申請にあつては、第1号に掲げる場合に限る。)に応じ、それぞれ当該各号に定める額を加算する。

(1) 共用部分がある場合(申請に係る設計一次エネルギー消費量の算出の基礎に共用部分が含まれている場合に限る。) 30, 100円

(2) 非住宅部分がある場合(非住宅部分の全部の用途が工場等である場合に限る。) 12, 100円

(3) 非住宅部分がある場合(前号に規定する場合を除き、非住宅部分の全部が建築物省エネ法基準省令第10条第1号イ(2)及びロ(2)に定める基準に係るものである場合に限る。) 24, 300円

(4) 非住宅部分がある場合(前2号に規定する場合を除く。) 62, 600円

29 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料(計画適合性確認機関が認めた場合等並びに計画適合性確認機関が認めた場合等以外の場合における1戸建て住宅及び共同住宅等(建築物全体、建築物全体及び住戸又は複合建築物の住宅部分に係るものに限る。)に係る申請に係るものを除く。)について、非住宅部分の全部の用途が工場等である場合における当該手数料の額は、当該手数料に係る手数料金額の欄の規定にかかわらず、第25項の規定により計算して得た額の2分の1に相当する額(その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てて得た額)とする。

30 34の項に掲げる建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料について、当該証明書の申請に係る建築物エネルギー消費性能向上計画に建築物のエネルギー消費性

能の向上等に関する法律第29条第3項各号に掲げる事項が記載されている場合における当該手数料の額は、当該建築物エネルギー消費性能向上計画に係る同項に規定する申請建築物及び他の建築物の各建築物（軽微な変更があるものに限る。）についてそれぞれ別の申請があったものとみなしてこの表により算出した建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更に関する証明書交付手数料の額に相当する額を合算した額とする。

附 則

この条例は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 5 に 5 項を加える改正規定は、同年 5 月 9 日から施行する。

理 由

この案を提出するのは、建築基準法の一部改正に伴い建築確認等に係る手数料を見直すとともに、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律の一部改正に伴い建築物エネルギー消費性能適合性判定に係る申請手数料等の区分等を見直し、併せて宅地造成及び特定盛土等規制法の一部改正に伴い、宅地造成工事等の許可に係る申請手数料等を定める必要があるからである。